

追悼特集

亡くなった作家や著名人を偲んで、作品を紹介します。
* () は命日

加島祥造 (2015年12/25)
詩人、翻訳家、随筆家。著書に『求めない』『受け入れる』など。

夏樹静子 (3/19)
推理作家。2006年に日本ミステリー文学大賞を受賞。著書に『Wの悲劇』『一瞬の魔』『量刑』など。

他にも…デヴィッド・ボウイ (1/10)、井上洋介 (2/3)、ウンベルト・エーコ (2/19)、戸川昌子 (4/26)、末吉暁子 (5/28)、アルビン・トフラー (6/27)、エリ・ヴィーゼル (7/2)、太田大八 (8/2)、むのたけじ (8/21)

水木しげる (2015年11/30)
漫画家。作品に『ゲゲゲの鬼太郎』など。エッセイに『人生をいじくり回してはいけない』『ちゃんと食えば、幸せになる』など。

津島佑子 (2/18)
小説家。太宰治の娘。『火の山』で谷崎潤一郎賞、野間文芸賞受賞。他に『夜の光に追われて』など。

秋山ちえ子 (4/6)
ラジオパーソナリティ、エッセイスト。菊池寛賞、東京都文化賞を受賞。著書に『風の流れに添って』など。

大橋巨泉 (7/12)
タレント、放送作家、エッセイスト。著書に『巨泉』『がん 大橋巨泉の場合』『やめたら』など。

野坂昭如 (2015年12/9)
作家、作詞家、タレント。「火垂るの墓」「アメリカひじき」で直木賞受賞。他に『文壇』『終末処分』など。

佐藤初女 (2/1)
福祉活動家、教育者。著書に『「粗食」のきほん』『初女さんのお料理』『いのちのことはば』など。

永六輔 (7/7)
タレント、随筆家、放送作家、作詞家。菊池寛賞など受賞多数。著書に『大往生』『叱る、だけど怒らない』『男のおばあさん』など多数。

近藤富枝 (7/24)
作家、エッセイスト。著書に『紫式部の恋』『美しい日本の暮らし』『大本営発表のマイク』など。



職員のおすすめ《この書き手に注目！》

ガブリエル・ゼヴィン

(1977年ニューヨーク生まれ)
ハーバード大学を卒業後、映画の脚本の仕事に携わる。著書に『天国からはじまる物語』『失くした記憶の物語』(どちらも理論社) などがある。

今回紹介する本は、2016年本屋大賞翻訳小説部門を受賞した『書店主フィクリーのものがたり』(早川書房) です。

島で唯一の書店の店主フィクリーは人づきあいの悪い偏屈者でした。ある日稀観本が盗まれ、数週間後には店内に幼女が捨てられるという事件が起きました。フィクリーは女の子を育てることに決め、愛おしさを知っていきます。本に囲まれ育つ女の子マヤ、本のセールスに来島した女性、フィクリーから本の面白さを教わる警察官、盗まれた稀観本にまつわる出来事、本を介在にして人々の変わっていく様子が軽やかなユーモアを交えた語り口で描かれています。

各章の見出しがわりに短編小説がコメント付きで紹介されています。これはフィクリーがマヤにあてたものですが、これらの作品も読みたくなる本好きには嬉しい一冊です。(本館 林)

大橋 鎮子

(おおはし しずこ 1920-2013年 東京都生まれ)
編集者、エッセイスト、暮らしの手帖社社主。同社の雑誌「暮らしの手帖」を創刊。1969年からエッセイ「すてきなあなたに」を同誌に連載。同エッセイにより1994年、第10回東京都文化賞を受賞。著書に『すてきなあなたに』、『「暮らしの手帖」とわたし』(いずれも暮らしの手帖社) など。

今回ご紹介するのは、NHK朝の連続テレビ小説「とと姉ちゃん」の实在モデルである大橋鎮子さんの『すてきなあなたに』です。雑誌「暮らしの手帖」に連載されていたエッセイをまとめた本で、1月から12月まで12の章からなり、日々の暮らしのこと、食べ物のこと、すてきな友人のこと、外国での出来事などが優しく美しい文章で綴られています。30年以上前に書かれたであろうお話も全く古さを感じさせない(文中「バター」を「バタ」、「スパゲティー」を「スパゲチ」などの表記あり。読んでいてほっこりします) 心温まるエピソードがいっぱいです。かたわらに置いて何度も読み返したくなる…そんなすてきな本です。

(桜ヶ丘分館 角)

分類	書名	著者名	出版者名
情報・心理・宗教			
007.64/ブ/	プログラムの絵本 初心者がプログラミングを始めるまでの足掛かりとなるようなことから、プログラミング言語の種類や使われる場面、近年のプログラミングに関するトピックスまでを、イラストを多用してわかりやすく解説する。	アंक／著	翔泳社
007.60/シ/	50歳からはじめる人生整理術 写真を効率的に整理する方法や、各種ネットサービス、PCなどの機器を管理する方策、パソコンやタブレットを使ってエンディングノートを作成する方法などを紹介する。	柴田和枝／著	日経BP社
140/ア/	生きるために大切なこと 人は誰でも劣等感を持っている。そして、そこから向上心が生まれるのだ。「今、ここにある自分」から出発し、わかりやすい言葉で語りかける、アドラー自身による、アドラー心理学入門。	A.アドラー／著	方丈社
185.9/ナ/	弘法大師空海が歩いた奈良 若き日の空海が仏教と出会い、研鑽と修行の日々を重ねた奈良。史実から伝承まで、奈良に刻まれた空海の足跡を豊富な写真とともに紹介する。	中村秀樹／文	淡交社
社会			
312.1/ノ/	政策会議と討論なき国会 たった23分の閣議で、集団的自衛権行使についての憲法解釈変更。議論のないまま、なぜ猛スピードで決まるのか。政策会議の網羅的な資料分析と、諸外国との比較を通じて、日本政治の特異性を描き出す。	野中尚人／著	朝日新聞出版
336.4/シ/	あなたを悩ます話してもわからない人 職場におけるさまざまなタイプの「話してもわからない人」について、どのように対応するのが望ましいかを多くの事例をあげながら解説。要求が肥大化した結果の不当クレマーへの法的対応についても説明する。	柴田豊幸／著	幻冬舎
365.3/カ/	家族で地方移住、はじめました。 地方移住して見つけた、ゆたかな暮らし。都市部から地方へ移住した20～40代の家族14組が、移住してよかったこと、大変なこと、変わったことを語る。初めての地方移住マニュアル、地方移住に役立つ支援制度ガイドも収録。	移住ライフ研究会／編	洋泉社
369.4/タ/	はい。赤ちゃん相談室、田尻です。 熊本の慈恵病院がはじめた取り組み、赤ちゃんポスト「こうのとりのゆりかご」にかかわってきた著者が、現場にいて考えたことや、「かけがえのない命」をつなぐということについて語る。	田尻由貴子／著	ミネルヴァ書房
383.8/カ/	料理でわかるヨーロッパ各国気質 ワインで人物鑑定するフランス人、寛容でケチなオランダ人の味覚音痴…。ヨーロッパで暮らして25年になる著者らが、ヨーロッパ各国の食と気質について、体験を踏まえつつ歴史的文献や資料も掘り起こしながら論じる。	片野優／著	実務教育出版
自然科学・医学			
486/ウ/	虫の目になってみた 昆虫は世界をどんなふうに認知しているのか。アブラムシを食べるデントウムシ、シジミチョウの幼虫とアリの蜜月、臭いでSOSを送るカメムシなど、小さな脳しか持たない彼らの合理的な生き様を、昆虫目線で追いかける。	海野和男／著	河出書房新社
494.6/タ/	名医が教える足のお悩み完全解決バイブル トップアスリートも頼りにする名医が、足の痛み・不調の治し方はもちろん、靴の選び方、正しい歩き方、毎日の足の手入れまで足のすべてを徹底解説。足についての正しい知識が身につく足版「家庭の医学」。	高倉義典／著	誠文堂新光社
技術・家政			
521.8/ウ/	受け継がれる住まい 歴史あふれる大切な我が家、古き良き日本の暮らしを永遠に失わないために…。9割の「受け継がれる住まい」を紹介し、伝統的な住まいや生活のよさを継承するためのヒントを伝授する。	住総研「受け継がれる住まい」調査研究委員会／編著	柏書房

537.9/ウ/	クルマの図書館コレクション	内野安彦／著	郵研社
	好きなものは「図書館めぐりとクルマ」という著者が、クルマに関する玩具や広告といったコレクションのほか、図書館を使ったことのないクルマ好きに向けて図書館の世界を紹介する。クルマ好きにおすすめの図書館も収録。		
590/ジ/	ゼロ・ウェスト・ホーム	ベア・ジョンソン／著	KTC 中央出版
	リフューズ(断る)→リデュース(減らす)→リユース(繰り返し使う)→リサイクル(資源化)→ロット(堆肥化)。この5つのステップを実行すれば、ごみをゼロに近づけられます！その具体的な工夫の数々を紹介。		
産業			
689.6/ラ/	通訳ガイドがゆく	ランデル洋子／著	イカロス出版
	海外から訪れる観光客の案内役を務め、日本の魅力を伝える通訳ガイド(通訳案内士)。その仕事の魅力からガイドイングの方法、コミュニケーションのコツ、ヒミツのネタ帳まで、ベテラン通訳ガイドが紹介する。		
芸術・スポーツ、言語			
760.9/ウ/	誰が音楽をタダにした？	ステイーヴン・ウィット／著	早川書房
	田舎の工場で発売前のCDを盗んでいた労働者、mp3を発明した技術者、業界を牛耳る大手レーベルのCEO…。音楽産業を没落させた張本人たちの強欲と悪知恵、才能と友情に迫った群像ノンフィクション。		
788.1/オ/	大相撲の解剖図鑑	伊藤勝治／監修	エクスナレッジ
	番付って何？土俵はどうやって造る？力士の引退後って？裏方ってどんな人がいるの？取組の見方から国技館の秘密まで、大相撲のすべてを完全図解。歴代横綱や歴代優勝力士など、相撲の歴史が分かる資料編つき。		
810.2/ミ/	武士語事典	宮越秀雄／[著]	明窓出版
	日常の会話や文書にさりげなくちりばめて使いたい武士語を50音順に収録し、その意味や歴史的背景、用例などを解説。武士道精神と武士語の成り立ちや、候文の書き方・読み方のルールも紹介する。		
文学—作家論、詩歌			
910.2/ナ/	漱石の愛した絵はがき	中島国彦／編	岩波書店
	漱石が大切に手元に残していた絵はがきの数々。門下生とのやりとり、文人との交友、愛娘からの報告、読者からの感想…。岩波書店所蔵の漱石宛絵はがきコレクションより、約百点をオールカラーで精選収録。		
日本文学—小説			
913.6/アベ/	おんなの城	安部龍太郎／著	文藝春秋
	結婚が政略であり、嫁入りが人質と同じだった時代。各々の方法で城を守ろうと闘った女たちがいた。戦国の世を峻烈に生きた3人の女性の運命を描く中編集。		
913.6/ウブ/	十二人の死にたい子どもたち	沖方丁／著	文藝春秋
	かつて病院だった建物に集う、少年少女たち。彼らの目的は安楽死すること。だがそこにはすでに、少年の死体があった。著者初の現代長編ミステリー。		
913.6/オオ/	ツタよ、ツタ	大島真寿美／著	実業之日本社
	新たな名前を持つこと。心の裡を言葉にすること。自分を解放するために得た術が、彼女の人生を大きく変えた。明治の終わりに沖縄に生まれた「幻の女流作家」の数奇な運命を描く。		
913.6/オギ/	ストロベリーライフ	荻原浩／著	毎日新聞出版
	農家なんてかっこ悪い。と思っていたはずだった。イチゴ農家を継げと迫る母親。猛反対の妻。志半ばのデザイナーの仕事はどうする？恵介36歳、いま、人生の岐路に立つ！		
913.6/キタ/1	魂の沃野 上・下	北方謙三／著	中央公論新社
	死ぬまでは前を見て生きろ！加賀の地に燃え広がる一向一揆の炎。蓮如、富樫政親との奇縁から、闘いに身を投じたある若き侍を描く、血潮たぎる歴史巨編。		
913.6/コデ/	曲がり木たち	小手鞠るい／著	原書房
	見えない、歩けない、居場所がない、コミュニケーションができない…。心の傷や生きづらさを抱えながらも、健気にしなやかに生きる人々の日常に光を当てた連作短篇集。「普通」とは何か、幸せな人生とは何かを、穏やかに問う。		

913.6/サク/	氷の轍	桜木紫乃／著	小学館
	釧路市の海岸で男性の他殺死体が発見された。北海道警察釧路方面本部刑事第一課の大門真由は、被害者の自宅で北原白秋の詩集「白金之獨樂」を発見し…。		
913.6/サワ/	秋萩の散る	澤田瞳子／著	徳間書店
	綺麗事だけで国は動かぬ一。日本(ひのもと)の威信と将来を担う人々の姿、奇跡のような瞬間が、奈良の都に満ちる。儚く尊い古代の日々を描いた、人生の機微に触れる歴史小説。		
913.6/タカ/	オライオン飛行	高樹のぶ子／著	講談社
	第二次大戦前夜、日本に墜落したフランス人飛行士と出会った看護婦・久美子。生涯で一度きりの命がけの恋。それは美しい悲恋か、陰謀の罠か？史実を基に大胆に描く、時空を超えた恋のミステリー。		
913.6/タカ/	日本核武装	高嶋哲夫／著	幻冬舎
	尖閣諸島を巡って日中の睨み合いが続く中、国内では日本の核武装に向けた詳細な計画書が見つかった。西部は防衛賞の真名瀬に秘密裏に全容解明するよう指示するが…。戦慄の予言小説。		
913.6/ハヤ/	うつけ世に立つ	早見俊／著	徳間書店
	乱世に落語、鶺鴒に興じた戦国の覇者一。岐阜市出身の歴史作家・早見俊が、かつてない信長を描く。岐阜市・信長公 450プロジェクトとの特別コラボ企画として、ウェブサイト「歴史行路」に連載された作品を大幅に加筆修正。		
913.6/ハム/	孤篷のひと	葉室麟／著	KADOKAWA
	江戸詰めを終え伏見で落ち着いた日々を過ごしはじめた茶人・小堀遠州は、千利休、石田光成、藤堂高虎らとの出会いを振り返り、茶とは何か、ひとが生きるとはどういうことなのかを見つめ直す。		
913.6/ヨシ/	犯罪小説集	吉田修一／著	KADOKAWA
	痴情のもつれで殺人まで行き着いたスナックママ、閉鎖的な過疎の村で壊れていく老人…。犯罪によって炙り出される人間の真実。凄絶で哀しい5つの物語を収録。		

かにっ子タイムクリスマス特集

パペットサークルかに座の影絵人形劇



「可児の昔話」を題材にした影絵人形劇を行います。

- 12月10日(土) 午後2時～3時 ■ 可児市立図書館本館 3階学習室にて
- 定員：親子50組(一人での参加も可) ■ 受付開始：11月16日(水)から(先着順)
- 申込方法：本館に直接もしくは電話でお申込ください。電話：(0574) 62-5120

展示のご案内

■ 10/29(土)～11/24(木) ■

読書週間特集展 (本館1階)

どんな本を読んだらいいかわからないとき、頼りになるのが「本を探すための本(ブックガイド)」です。あなたにぴったりの本を探してみましょう。10月27日から11月9日は「読書週間」です。

■ 11/26(土)～12/11(日) ■

可児市人権啓発センター、人づくり課 合同人権展(本館1階)

12月4日から10日は人権週間です。今年も可児市啓発センターと可児市人づくり課の合同人権展を行います。人権とは自分が自分らしく生きるための権利。誰もが身近にある人権問題についてこの機会に考えてみませんか。

開館時間

【本館】平日 10:00～19:00、
土日祝 10:00～17:00
【分館】全日 9:00～17:00

休館日 毎週月曜日、毎月最終金曜日

11月 7,14,21,25,28日

※桜ヶ丘分館臨時休館 11月6日(日) 桜ヶ丘ハイツ秋まつり開催のため(当日は桜ヶ丘公民館駐車場の使用もできませんのでご注意ください。)

携帯用
サイト



「図書館だより」2016年11月号

発行：可児市立図書館 編集：長谷川(本館) 電話(0574) 62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。